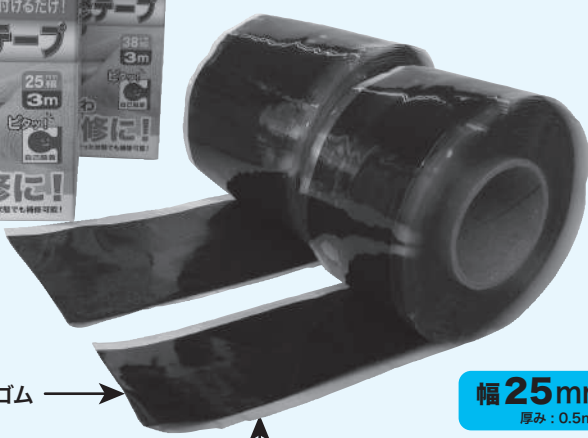
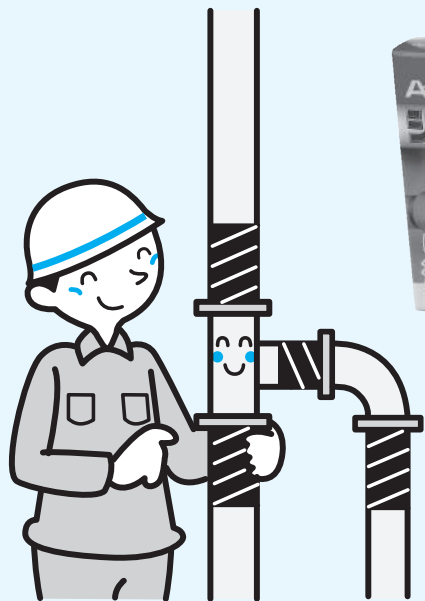


シリコン補修テープ

シリコン製
自己融着テープ



シリコンゴム

ポリエチレンフィルム(離型紙)

幅 **25mm** × 長さ **3m**
厚み: 0.5mm / 入数: 24巻

幅 **38mm** × 長さ **3m**
厚み: 0.5mm / 入数: 16巻

液体 気体 の漏洩補修用

用途

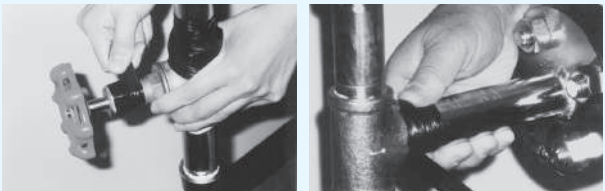
- 配管やホースからの液体、または気体の漏れ補修用
- 海水または薬液のかかるパイプ、またはロッドの防食用
- 電線等の防水または絶縁用
- 工具・スポーツ用品のグリップ補修用

特徴

- ① 接着剤・粘着剤は不要です。テープを引っ張りながら巻くだけで簡単に補修可能。
- ② テープ同士が融着するだけで手や相手配管には付着しないため、作業性に優れています。取り外す時もカッターなどで切断すれば簡単に除去できます。
- ③ どのような材質・形状にも巻付けて使用できます。テープとテープの間に、異物が入らなければテープは融着します。
- ④ テープの材質はシリコンのため耐熱性抜群です。

シリコン補修テープの物性

伸び率	300%
引張強度	5N/mm ²
耐寒・耐熱性	-50℃~200℃
防水性	吸収率3%以下



シリコン補修テープの使用法と注意点

1. 漏洩部周辺の錆や汚れなどをきれいに拭き取ってください。
2. 漏洩部から少し離れた所から巻き始めます。
3. テープとフィルム(離型紙)を剥がしながら巻いていきます。テープの幅が約半分になるぐらいまで引っ張りながら重なり合うように巻付けてください。
4. テープとテープの間に水分や端材など異物を挟むとテープは融着しにくくなり、効果は半減します。極力異物を挟まないよう注意してください。テープを引っ張りながら、水分などを押し出すように巻くと効果的です。やむを得ず水分を挟んだまま巻いた場合、テープを強く引っ張りながら二層ぐらい余分に巻いてください。
5. 漏洩部の凹凸が大きい場合、その凹部にテープの塊を埋込んでからテープを強く巻いてください。大きな穴状漏洩部にはテープを丸めて栓のように詰め、穴そのものを小さくしてからテープで補修してください。凹凸の大きい漏洩部や圧力の高い漏洩部では特に漏洩部の周辺に、各30mm幅以上しっかり巻くことがポイントです。何層にも重ね巻きをすることで耐圧性能はアップします。
6. 内圧がかかった状態でも渗んでいる、もしくはポタポタと漏洩している程度であれば補修可能です。当製品の4層による補修作業完了後の最大使用圧力は0.8MPa {8.16kg/cm²} 程度です。
7. 巻き付け後、5~6分でテープ同士はほぼ融着しますが、その後も少しずつ融着し続け、24時間後にほぼ安定します。
8. 可燃性ガス配管には使用しないでください。当製品には完全な気密性はございませんので大変危険です。また、溶剤(トルエン・ベンゼン・ヘキサンなど)・油類(ガソリン・灯油・潤滑油など)にテープが触れないようご注意ください。

作業手順

